

TEAM TARO



SANMEI Team TARO PLUSONE TARO SEKIGUCHI RACE REPORT

JSB1000
11



2022 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第1戦

SUPERBIKE RACE in MOTEGI

栃木県・モビリティリゾートもてぎ (1周=4.801379km)
クラス: JSB1000 マシン: BMW M1000RR タイヤ: BRIDGESTONE
2022年4月2日(土) 天候: 曇り コース: ドライ
レース1 予選: 10番手 (タイム: 1分51秒494) 決勝: 12位
2022年4月3日(日) 天候: 曇り/雨 コース: ドライ/ウエット
レース2 予選: 11番手 (タイム: 1分51秒510) 決勝: 10位
観客動員数: 5,500人 (2日間合計)



TARO M1000RRと共に始まった2022年シーズン



いよいよ全日本ロードレース選手権が開幕した。SANMEI Team TARO PLUSONEとしてJSB1000クラスで3年目を迎える2022年。スポンサーの皆さんのご協力のおかげで、ついに最新モデルであるBMW M1000RRを投入！ ドイツからのパーツ配送トラブルで到着が遅れたものの、メカニックの頑張りもあり、何とか3月上旬にシェイクダウンできていた。しかし、ハイテク化された最新モデルは、一筋縄ではいかない。事前テストになっても、電子制御など、各部分の動作確認をしながらマシンを理解する作業に終始。焦らずにペースを上げていくことを決めていた。



レースウィークに入り、ようやく普通に攻められるようになり、足回りの方向性を探りながらセットアップを進める。木曜の午後から急激に気温が下がり、日曜日まで例年より気温の低い日が続いた。路面温度も上がらず、金曜日の1本目は、夜のうちに降った雨の影響で中途半端な路面コンディションとなったため走れず。2本目は、コースイン直後に2コーナーでM1000RR初転倒を喫してしまう。幸いケガはなかったため、ピットに戻り、もう1台のマシンで出走。1分51秒台と、まずまずのタイムを記録していた。

土曜日の公式予選でも足回りの方向性を確認しつつ、セッション途中でニュータイヤに交換しタイムアタック。単独走行でベストタイム、セカンドタイムと、同レベルのタイムを記録。もっと周回を重ねればタイムを詰めていける手応えを感じていた。



レース1は、スタート直前にエンジントールしてしまったマシンがあり、仕切り直しとなり、1周減算の14周で行われた。スタートは周りを把握しながら慎重に1コーナーに入。3コーナーで1台にパスされるものの2周目に抜き返し、前の集団を追う。3台による9位争いを繰り広げていたが、レース終盤に後方から1台追いついてきたライダーにかわされ12位でゴール。マイナートラブルを抱えていたこともあり、まずは完走できてひと安心というところだった。



レース2は、スタート前に雨が降り始め、グリッドに並んでいる間に雨足が強くなる。このため、またもレースはディレイとなり、2周減算の21周で争われることになった。

M1000RRでウエットコンディションを走るのは初めて。レインマップを使ってみるが、トラクションコントロールが効き過ぎてしまい、調節しながらの走行となっていた。その後、雨は止み、モードの切り換えも落ち着くとペースアップ。後続を引き離し10位でチェッカーフラッグを受けた。



■関口太郎コメント

「今シーズンも多くの皆さんのご協力があり、スタートラインに立てたことを感謝申し上げます。BMW M1000RRで迎えた開幕戦を、まずは2レースとも完走できたのでホッとしています。これもチームスタッフのおかげです。まだまだ手探り状態ですが、M1000RRは、すごくポテンシャルのあるマシンだと思います。これから、どんどんいい部分を引き出して、いい報告ができるように精一杯頑張ります。2022年シーズンも応援よろしくお願いたします」



TARO

このリリースへのお問い合わせは、
下記メールアドレスまでお願いいたします。
E-mail : tarosekiguchi@gmail.com